

## 別添様式

都道府県、政令市名	島根県		
基金の名称	しまね環境基金		
基金の目的	島根県環境基本条例に基づく環境の保全に関する施策を推進するため		
28年度末基金総額(a=b+c+d+e)	294,852,838	27年度末基金総額	308,671,552
うち国費相当額(b)	147,387,557	▲28年度基金執行額	13,896,439
うち地方負担相当額(c)	147,387,557	28年度基金運用益	77,725
うち運用益(国費相当分)(d)	38,863	28年度その他造成額	0
うち運用益(地方負担相当分)(e)	38,863		

## 別添様式

1 自然観察指導員等の養成事業	
執行額	558,000円(うち基金充当額558,000円)
目的	県内には、全国に誇れる多様で豊かな自然が数多く存在しており、こうした豊かな自然環境を保全しながらの活用が推進されているところである。そのために、必要な自然の見方、自然保護の考え方、自然観察の方法などを備え、優れた自然の価値や大切さを伝えることができる人材の養成を行う。
期間	平成28年6月25日～26日
実績	<p>○NACS-J自然観察指導員講習会</p> <p>1泊2日の日程で行い、「自然保護・生物多様性保全の考え方」「自然のしくみへの理解」「自然観察会の開き方」などを学ぶ。</p> <p>件名 第514回NACS-J自然観察指導員講習会・島根県</p> <p>日時 平成28年6月25日～26日</p> <p>場所 国立三瓶青少年交流の家</p> <p>参加者 一般56名 スタッフ28名(講師3名、県2名、島根県自然観察指導員連絡協議会23名)</p> <p>内容</p> <p>(1)開講式</p> <p>(2)野外実習「自然観察の視点」(テキスト第1章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠くから眺める-スケッチする-近づく-中に入る-横・上・下を見る-さらに下を見る</li> </ul> <p>(3)講義「自然の保護」(テキスト第2章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保護とは 生物多様性 生態系サービス・4つの危機 自然観察指導員の役割</li> </ul> <p>(4)講義「自然の観察」(テキスト第3章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意義 自然観察会と自然保護教育 自然の見方</li> </ul> <p>(5)諸連絡・情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者・スタッフ間でのそれぞれの活動や思いについて情報交換を行う</li> </ul> <p>(6)オプション観察会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場周辺の自然環境への理解を深める</li> </ul> <p>(7)野外実習「自然観察の素材」(テキスト第4章)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3講師3班に分かれて、周辺を散策しながら観察会の素材探しの視点、ヒントを学習</li> </ul> <p>(8)野外実習「自然観察会の企画」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各参加者が観察会を実践するためにそれぞれ素材探し、企画立案</li> </ul> <p>(9)野外実習「自然観察の開催」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小班に分かれ、それぞれ協議会スタッフのコーディネートにより参加者が観察会を実践</li> </ul> <p>(10)閉講式</p>
公募状況	-

2 .自然公園等ボランティア支援事業	
執行額	240,340円(うち基金充当額240,340円)
目的	自然公園等の貴重な自然環境を有する地域で熱意を持って保全活動を行っているボランティア団体、地元自治体等が中心となり、一般県民も参加して施設の環境整備等を通じて、もってボランティア活動の支援と県民の自然保護意識醸成を図る。
期間	平成28年9月7日～平成28年11月24日
実績	<p>○自然保護活動の普及啓発 普及啓発について、2団体に対し以下のとおり委託を行った。</p> <p>委 託 名:立久恵峡県立自然公園における看板製作・設置の業務委託 委託目的:立久恵峡県立自然公園に植物名札、名所の説明看板を設置することにより、環境美化及び保全を呼びかけ、自然保護意識の醸成をはかる。</p> <p>委託内容:(1)看板(説明看板1基、植物名札3基)製作の実施 (2)上記看板を立久恵峡県立自然公園内に設置し、実施報告書を提出。</p> <p>委託期間:平成28年9月7日から平成28年12月12日 業務完了日:平成28年10月3日</p> <p>委 託 名:みんなで守る郷土の自然選定地域「常磐山カン林」における自然観察会等委託業務 委託目的:昨年度、本事業で各種看板を整備した「常磐山カン林」において、自然観察会を実施するとともに、普及啓発パンフレットを作成し、自然保護の普及・啓発を図った。</p> <p>委託内容:(1)自然観察会の実施、自然観察会資料の作成 (2)普及啓発パンフレットの作成</p> <p>委託期間:平成28年11月10日から平成29年1月16日 業務完了日:平成28年11月24日</p>
公募状況	-

3 見える化を取り入れた環境保全普及啓発事業															
執行額	6,573千円(うち基金充当額5,302千円)														
目的	喫緊の課題である地球温暖化防止対策や廃棄物の削減等環境保全の重要性を、各種媒体を活用して分かりやすく広報や実践することにより普及啓発を図る。														
期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日														
実績	<p>見える化を取り入れた環境保全普及啓発事業</p> <p>(1)「見える化」広報</p> <p>1)楽しみながらできる省エネ“足し算の省エネ”のすすめ事業 普及啓発の新たな視点である「楽しみながらできる省エネ」「足し算の省エネ」とは何かを知ってもらうため、家庭を対象とし、世帯構成にあった“足し算の省エネ”を紹介するための媒体を作成した。</p> <p>① 子育て世帯向け ホームページ用コンテンツ ② 子育て世帯向け リフレット 冊数 3,000部</p> <p>(2)環境イベントへの出展</p> <p>1)8市町実施(平成28年9月11日～平成29年2月12日) 内容:体験コーナー&amp;展示</p> <p>(3)生ごみ減量の実践と見える化及び広報</p> <p>1)生ごみコンポストによる生ごみ減量の取り組み</p> <p>ア. 生ごみ減量講座</p> <p>①概要 『生ごみ ダイエット!』と題し、買い物や調理時の工夫、生ごみの分別による利活用と廃棄方法など、家庭における生ごみ減量の呼びかけを行った。</p> <p>②実施日及び場所</p> <table border="0"> <tr> <td>7月26日(火)</td> <td>出雲エネルギーセンター(出雲市芦渡町)</td> </tr> <tr> <td>11月1日(火)</td> <td>カルチャープラザ仁多(奥出雲町三成)</td> </tr> <tr> <td>11月30日(水)</td> <td>川向リサイクルプラザ(松江市竹矢町)</td> </tr> <tr> <td>2月4日(土)</td> <td>パレット江津(江津市江津町)</td> </tr> <tr> <td>2月14日(火)</td> <td>田所公民館(邑智郡邑南町下田所)</td> </tr> </table> <p>③講師 野崎 研</p> <p>イ. 生ごみ減量の実践と計量</p> <p>①概要 上記の講座参加者から生ごみコンポストの設置と生ごみ計量の取組への協力者をつのり、一定期間生ごみ減量効果を測定した。</p> <p>②期間 2月～3月</p> <p>③取組者 江津市民 2名</p> <p>④結果 総削減量 44 kg</p> <p>2)ミズコンポストBoxによる取組</p> <p>ア. ミズコンポストについての講演会</p> <p>①概要 話題提供『自然とみみずとふれあって 学んだこと～子ども達の教育実践報告～』及び意見交換『ミズコンポストと園児のふれあい』を開催し、ミズコンポストの取組参加者を募った。</p> <p>②実施日 3月7日</p> <p>③場所 グラントワ(益田市有明町5-15)</p> <p>④講師 石橋美冬(科学教育研究会 理事)</p> <p>イ. 県外の先進地視察</p> <p>①概要 講義『ミズの適正管理と害虫対策』と施設見学及び小学校と連携した環境教育の取り組みについて意見交換を行った。</p> <p>②実施日 12月5日</p> <p>③視察先 生ごみ減量用ミズ養殖施設等(株)光和商事(東広島市河内町)</p> <p>④講師 久保幸路(光和商事株式会社 環境開発事業部部长)</p> <p>ウ. 保育園等への設置</p> <p>①概要 職員及び園児向けに生ごみを堆肥にかえるみみずの働きとミズコンポストBoxを使った生ごみ減量を説明し、ミズコンポストBoxを設置して、各園で生ごみ減量に取り組んだ。</p> <p>②実施日及び場所</p> <table border="0"> <tr> <td>11月2日(水)</td> <td>まるに保育所(益田市白上町)</td> </tr> <tr> <td>11月14日(月)</td> <td>吉田こども園(益田市水分町)</td> </tr> </table> <p>エ. 生ごみ減量の実践と計量</p> <p>①概要 設置したミズコンポストBoxを用いて、実際に生ごみを投入し、一定期間の生ごみ削減量を計量した。</p> <p>②実施日 平成28年4月～平成29年2月</p> <p>③取組者 益田市民等 5名</p> <p>④結果 総削減量 147 kg</p> <p>オ. 意見交換会</p> <p>①概要 ミズコンポストBoxの設置の希望調査、環境教育ツール(循環型社会、ミズと生態系)作成に関する検討を行った。次年度は、益田市内の幼稚園・保育園向けミズコンポストBox設置数を増やし普及をはかることとした。</p> <p>②実施日 平成28年4月25日、6月2日、7月6日、8月23日、10月12日、平成29年2月1日、3月23日</p> <p>③場所 益田市役所、市民学習センター及び現地(益田市白上町)</p>	7月26日(火)	出雲エネルギーセンター(出雲市芦渡町)	11月1日(火)	カルチャープラザ仁多(奥出雲町三成)	11月30日(水)	川向リサイクルプラザ(松江市竹矢町)	2月4日(土)	パレット江津(江津市江津町)	2月14日(火)	田所公民館(邑智郡邑南町下田所)	11月2日(水)	まるに保育所(益田市白上町)	11月14日(月)	吉田こども園(益田市水分町)
7月26日(火)	出雲エネルギーセンター(出雲市芦渡町)														
11月1日(火)	カルチャープラザ仁多(奥出雲町三成)														
11月30日(水)	川向リサイクルプラザ(松江市竹矢町)														
2月4日(土)	パレット江津(江津市江津町)														
2月14日(火)	田所公民館(邑智郡邑南町下田所)														
11月2日(水)	まるに保育所(益田市白上町)														
11月14日(月)	吉田こども園(益田市水分町)														

	<p>3)普及啓発グッズの製作</p> <p>ア. 家庭での生ごみ減量啓発タペストリーの製作</p> <p>①概要 家庭における生ごみ減量について、買い物や調理時の工夫、生ごみの分別による利活用と廃棄方法などについて、わかりやすいイラストを用いたタペストリーを作成し、普及啓発のための貸出グッズとして活用した。</p> <p>②制作物 生ごみをへらそう「どうしてごみはくさい？」  生ごみをへらそう「いただきますのその前に！」  生ごみをへらそう「ごちそうさまのその後に！」</p>
<p>公募状況</p>	<p>-</p>

4 見える化を取り入れた事業者向けパンフレット作成事業	
執行額	1,906千円(うち基金充当額750千円)
目的	エコアドバイザーによる省エネ診断は、事業者の具体的な省エネ対策を支援してきた。この診断結果を参考に、実際の省エネ手法、削減効果や削減コストを「見える化」し、他事業所に対して、わかりやすく取り組みやすい情報提供を行うため、パンフレットを作成配付する。
期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
実績	<p>「環境法令概要ガイド」(環境法令の見える化)の作成  省エネ対策手法に取り組むに当たり、環境法令の遵守を果たしているかどうかが必要となる。また、企業活動を行う中、法令遵守への要求は、一層強まっており、省エネ手法を実践、検証する環境マネジメントの視点においても重要である。  当ガイドでは、企業の取り組み目線を重視して、内容構成を行った。</p> <p>①平成28年度改正後の最新の規制に係る環境法令(36法令)、環境に係る基本法(9法令)、支援法を掲載(9法令)。  ②特に、規制に係る環境法令では、業種別に自社に適用される法令かどうか一次的にスクリーニングしてもらえることを編集意図とした。  ③環境に係る基本法、支援法に関しては、環境マネジメントを意識し、「機会」(環境配慮型経営)の活用への展開に役立つ情報を提供した。</p>
公募状況	-

5 中小企業社内研修支援事業	
執行額	348千円(うち基金充当額348千円)
目的	企業に環境配慮型経営に長けた人材を派遣し、社員等に省エネ等の手法等を伝播し、現状を見える化しながら企業全体の環境型配慮経営の取組を支えるとともに、その取組や成果を事業者部会企業に広げる。
期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
実績	<p>中小企業社内研修</p> <p>(1) 事業所にあったECOアドバイザー等の最適講師の派遣による、研修会の実施  しまねストップ温暖化宣言事業者を対象に、事業所の社員等に対して研修会を開催。  ・開催時期:平成28年7月、8月・9月、11月  ・開催事業所数:3事業所  ・開催内容:  ①社内人材養成集合型研修(2回)ー省エネ手法、知識、事例の学習等  ②見える化導入型研修 (1回)ーデータの見える化手法、活用方法の提案、検討  ・出席者数:延154名(第1回61名、第2回7名、第3回86名)</p> <p>(2) 運用改善の取組事例紹介  社内の環境人材が豊富になることにより、息切れせずに運用改善をはじめとする対応が的確にかつ長期展望に基づいて実行できる事例や市民目線から見た環境事業を、クイズ形式を取り入れながら紹介した。</p> <p>(3)省エネ対策の着眼点  事業者にとって最適な「運用改善」を直ちに行うことができ、即効性のある省エネ等の効用実現と企業の社員等の意識を高めることにより更なる環境経営の充実が期待でき、継続的な改善が可能となった。</p> <p>(4)改善のヒントとなる取り組みについて  エコアクション21や環境マネジメントシステムの概略等について、PDCAサイクルを応用して紹介した。</p>
公募状況	—

6 親子で取り組むもったいない生活事業	
執行額	1,500千円(うち基金充当額1,500千円)
目的	幼稚園及び保育園に通園する未就学児や小学生を対象とした普及啓発活動は、その保護者である比較的若年層の成人や、これらの園児等を孫にもつ高齢者などにも影響が大きく、幅広い年齢層に波及的な効果を与えることが可能である。 そこで、これら未就学児等とその保護者を対象とし、家庭において親子で簡単に取り組めるわかりやすい省エネ行動を促すワークシートを配布し、取組を促す。
期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
実績	<p>(1)幼・保育園児向けワークシートの作成と配布</p> <p>①概要 幼稚園児、保育園児とその保護者に家庭内で省エネに取り組んでもらえるよう、「親子で取り組むもったいない生活事業」を幼稚園及び保育園を所管する県各課と連携して各園に参加を呼びかけ、実施した。</p> <p>②実施期間 平成28年7月～平成29年2月</p> <p>③実施園数 54園(参加園児数:1,710名、ワークシート回収数474枚)</p> <p>④削減量 275kg-CO2</p> <p>(2)小学生向けワークシートの作成と配布</p> <p>①概要 松江市内の小学校4年生を対象に、夏休みに省エネチャレンジシートの取り組みを行った。取り組み優秀校は松江環境フェスティバルで表彰した。</p> <p>②実施期間 平成28年7月～8月</p> <p>③実施校数 31校(参加者数:1,703名、ワークシート回収数1,159枚)</p> <p>④削減量 4,700kg-CO2</p>
公募状況	-

7 見える化を取り入れた普及啓発教材作成事業	
執行額	1,000千円(うち基金充当額1,000千円)
目的	地球温暖化や家庭で取り組める省エネなど、身近な環境問題について知り、学ぶことができる教材を地球温暖化防止活動推進員などボランティアと共に作成し、地域での普及啓発活動や学校での学習に活用する。
期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
実績	<p>(1) ボランティアと協働で取り組む教材づくりワークショップの実施 地球温暖化防止活動推進員が地球温暖化防止のための普及啓発の活動を行う際に使用する各種ツールについて、より受ける側の目線に立った効果的なものとするため、ツール作成の専門家から話を聞き、推進員自ら開発にかかわるワークショップを3回開催した。</p> <p>①概要 推進員等が普及啓発活動において活用するツールとして、環境と「食」、「資源」、「観光」、「歴史」を関連づけ、多様な視点から島根県の環境について体験しながら学ぶ事ができる「〇〇(まるまる)ボックス島根版」を作成した。</p> <p>②講師 森 高一(株式会社森企画)</p> <p>③日時 (第1回)9月13日(火) (第2回)10月16日(日) (第3回)11月17日(木)</p> <p>④場所 あすてらす(大田市)</p> <p>⑤参加者数 (第1回)21名 (第2回)13名 (第3回)15名</p> <p>⑥製作物 〇〇(まるまる)ボックス4セット(「食」、「資源」、「観光」、「歴史」の各テーマ1セット)</p> <p>(2) 普及啓発教材の作成 環境への負荷が少ない循環型社会を実現するためにも、可燃ごみを減らし資源を有効に利用することが必要である。そのため、地域での普及啓発や学校での学習で使用するための楽しみながら分別について学べるマグネット教材を作製した。</p>
公募状況	-

8 地球温暖化防止活動推進員の連携強化事業	
執行額	2,700千円(うち基金充当額2,700千円)
目的	地球温暖化についての知見を備え、家庭における省エネ等に関する普及啓発を行う地球温暖化防止活動推進員の活動を支援し、一般への普及啓発を促進する。
期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
実績	<p>(1)研修による推進員の活動支援  島根県地球温暖化防止活動推進員と行政担当職員を対象とした研修を開催し、推進員の資質向上を図るとともに、地域住民への普及啓発促進に向けて推進員相互や行政との連携を強化した。</p> <p>ア. 全体研修「ツールを開発してみよう」</p> <p>①概要 推進員自らが、どのようにしたら受け手に地球温暖化についてわかりやすく、効果的に伝えることができるか考え、必要な普及啓発ツールの企画や製作ができるよう、ツール開発の専門家からポイント等を学んだ。</p> <p>②講師 藤野 純一(国立環境研究所社会環境システム研究センター持続可能社会システム研究室主任研究員)  森 高一(株式会社森企画)</p> <p>③日時等 日 時:平成28年8月2日(火)  会 場:島根県民会館(松江市)</p> <p>④参加者 20名</p> <p>イ. 全体研修「地球温暖化対策の国際動向と日本」</p> <p>①概要 2015年に開催されたCOP21とその後のパリ協定の発効を受けて、国際社会や日本がどのように地球温暖化対策を進めていくのか、COP22に参加した専門家から、最新の動向を聞き、取り組むべき地球温暖化対策について考えた。</p> <p>②講師 沖村 理史(島根県立大学総合政策学部教授)</p> <p>③日時等 日 時:平成28年11月20日(日)  会 場:サンラボーむらくも(松江市)</p> <p>④参加者 58名</p> <p>ウ. 地域別研修「里山暮らし研究所・里山ハウスの視察」</p> <p>①概要 地域別研修として、雲南市大東町でNPO法人里山笑楽校を主催している多久和厚氏のエコハウス「里山ハウス」を視察し、風力などの再生可能エネルギーや木質バイオマスを活用した暮らしについて学んだ。</p> <p>②講師 多久和厚(NPO法人里山笑楽校)</p> <p>③日時等 日 時:平成28年12月20日(火)  会 場:里山暮らし研究所(雲南市大東町)</p> <p>④参加者 10名</p> <p>エ. 全体研修「推進員活動と地域連携について考えてみよう」</p> <p>①概要 平成28年12月に委嘱された第8期の推進員が、地球温暖化についての理解を深めるとともに、推進員活動のあり方について考え、今後地域の多様な主体とどのように連携し、活動を展開していくか、ワークショップ形式で学び、共有した。</p> <p>②講師 中平 徹也(津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ所長/元岡山県地球温暖化防止活動推進センター事務局長)</p> <p>③日時等 日時:平成29年2月23日(木)～24日(金)  会 場:島根県民会館(松江市)</p> <p>④参加者 30名</p> <p>オ. 外部研修「中国四国から気候変動を考えるワークショップ」</p> <p>①概要 環境省主催の研修に推進員が参加する機会を提供し、地球温暖化の適応策に関する基礎知識について学ぶとともに、併せて行われたワークショップにより、地域における影響事例を参加者相互に共有し、地域での適応策について学びを深めた。</p> <p>②講師とテーマ 畑中 直樹(株式会社地域計画建築研究所/和歌山大学システム工学部非常勤講師)「地域における気候変動影響への適応について」  伊藤 麻衣(気象キャスター)「私たちの暮らしと気候変動」</p> <p>③日時等 日時:平成29年3月4日(土)  場所:広島YMCA国際文化センター(広島市中区)</p> <p>④主催 環境省中国四国地方環境事務所</p> <p>(2)活動経費支援  推進員の活動を円滑にし、活動にかかる経費の一部を費用弁償するため、活動実績がある推進員に対して、一律定額5,000円を支給した。</p> <p>(3)広報(認知度向上のための広報資材整備)  地域で活動する島根県地球温暖化防止活動推進員を広く知ってもらうため、H26に推進員の愛称を「しまねエコライフサポーター」に決定。認知度向上のため、推進員の活動を紹介するリーフレット等を作成した。</p> <p>1)リーフレット 5,000 枚  2)タペストリー 3枚/セット×2  3)ポロシャツ(新規委嘱者への配付用) 23 枚</p>
公募状況	-

9 環境保全活動支援事業	
執行額	1,500千円(うち基金充当額1,500千円)
目的	第2期島根県環境基本計画に掲げた「参加と協働による地域環境づくりの推進」を行う。
期間	平成28年4月1日～平成29年3月31日
実績	<p>(1)環境保全活動支援事業 910千円  第2期島根県環境基本計画に掲げる重点施策を推進するための環境保全活動に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象団体  構成員10人以上の環境保全活動実践団体(地域住民グループなどの任意組織、NPO法人他)</li> <li>・対象事業  環境保全(第2期島根県環境基本計画に掲げる重点施策に限る。)の実践活動</li> <li>・補助額  補助率 2/3、上限額 80万円</li> <li>・募集期間  (1次募集)平成28年4月1日～5月2日  (2次募集)平成28年6月16日～8月1日</li> <li>・実施期間  (1次募集)平成28年4月1日～平成29年2月28日  (2次募集)平成28年7月1日～平成29年2月28日</li> <li>・広報  (一次)募集チラシ及び申請の手引きの配布 2,500部  (二次)募集チラシ及び申請の手引きの配布 1,500部</li> <li>・説明会  4月に6会場(隠岐、松江、出雲、大田、浜田、益田)、9月に3会場(松江、浜田、隠岐)において助成金合同説明会を開催。</li> <li>・審査会  6月15日(1次)、9月8日(2次)</li> <li>・助成実績  14団体 910千円</li> </ul> <p>(2)審査会経費等 590千円</p>
公募状況	—